

京都学・歴彩館 海外若手研究員受入事業 府民向けセミナー第1回（開催報告）

平成30年2月21日
京都学・歴彩館
075-723-4835

京都学・歴彩館では、世界とつながる京都学の研究・交流拠点をめざし、国内外からの幅広いアプローチにより京都文化の普遍的な価値を研究、発信するため、平成29年度から、日本研究・京都研究の優秀な海外若手研究者を京都学研究員として招聘しています。このたび、京都学研究員による第1回府民向けセミナーを開催しましたので報告します。

記

- 日 時 平成30年2月16日（金） 13:30～16:00
- 場 所 京都府立京都学・歴彩館 小ホール
- 講 師 京都学研究員 林琪禎（リンクテイ）／台湾（高雄）から招聘
黄馨儀（コウケイギ）／台湾（台北）から招聘
楊 洋（ヨウヨウ）／中国（上海）から招聘

- 参加者 40名

■ 発表内容

- 発表1 林琪禎（リンクテイ）
「帝国大の教育像 -昭和前期の国民学校のめざすものとは-」
- 発表2 黄馨儀（コウケイギ）
「世界に羽ばたく日本文化-台湾での朝ドラ放送及び受容を中心に-」
- 発表3 楊 洋（ヨウヨウ）
「中世帝王学の革新-『花園天皇宸記』-」

■ セミナーの様子

各講師 30分程度の発表のあと、積極的な質疑応答が行われ、研究者と参加者の交流を図りつつ、京都学の研究内容についての理解を深めた。

■ 参加者コメント（抜粋）

- ・「海外の研究員の方の視点から新しい問題意識をいただきました。」
- ・「海外の研究者に日本の文化や歴史を深く学んでいただくことは、国際的な相互理解に役立つだけでなく、日本人である我々も知らない「気づき」も得られて有益と思う。」
- ・「台湾での近代教育の受容や、ポップカルチャー面での交流、何よりも、かねてから興味があり、こころ惹かれる“御宸記”の研究など、大変ユニークな内容でした。」
- ・「三人三様の発表内容を興味深く聞きました。」「充実しており、面白い内容でした。」
- ・「是非、この種のセミナーを続けてほしい。」「関連図書も是非とも読んでいきたい。」
- ・「わかりやすく、かつ奥深い内容で面白かった。また受講したいです。」

■ 第2回府民向けセミナーについて（予定）

日時：平成30年3月9日（金） 13:30～14:30 場所：当館小ホール
講師：ラドゥ・レカ（ルーマニア出身、オランダから招聘）
テーマ：「愛国主義の具体化？幕末日本の地図皿」

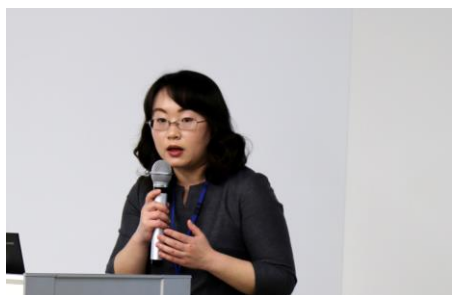
府民向けセミナー第1回の様子



発表1 林琪禎（リンクテイ）氏



発表2 黄馨儀（コウケイギ）氏



発表3 楊 洋（ヨウヨウ）氏



発表後の質疑応答の様子



館長と京都学研究員の歓談